



## テュートリアル課題 ビストロ「ジャンゴ」

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2017
号	S6
発行年	2017-08-29
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/00032914">http://hdl.handle.net/10470/00032914</a>

2017年度 Segment. 6

課 題 No.3

課題名：ビストロ「ジャンゴ」

課題作成者：耳鼻咽喉科学  
解剖学

近藤律男  
本多祥子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

寺内勘太郎さんは41歳の男性で、ビストロ「ジャンゴ」を経営しています。お店の名前は、フランスで主に活動した天才ギタリスト「ジャンゴ・ラインハルト」にちなんでいます。今日は休日のため、自宅で久しぶりにジャンゴ・ラインハルトのレコード「ジャンゴロジー」を聴いています。久しぶりに聴いたせいか、左右からの聞こえに差があるような気がしました。モノラル録音であるのに少し不思議に思いました。

シート2

後日、お店で仕込みをしていると、いつもと味の感覚が違っていることに気付きました。何度か味を確認してみると、舌の右側が少し味を感じにくくなっていることがわかりました。また、お店で仕事をしていても、右から話しかけられると少し聞こえが悪いように感じます。

その後しばらく様子を見てみましたが、右耳の聞こえにくさと舌の右側の味覚低下は変わりません。特に味覚低下は仕事にも影響があるため、病院を受診することにしました。

勘太郎さんは耳鼻咽喉科を受診しました。まず、問診では右耳の聞こえにくさと舌の右側の味覚低下以外に、耳の痛みや耳だれ、耳鳴、めまいなどの症状はないかと聞かれました。勘太郎さんは、そうした症状はありません、と答えました。

シート3

問診が終了すると、その後、耳の診察と聴力検査、味覚の検査を受けました。

シート4

勘太郎さんはさらにティンパノメトリーと耳管機能検査を行い、側頭骨CT検査の予約をしました。

シート5

主治医から手術をすすめられたため、勘太郎さんは入院して手術を受けました。手術は無事に終了し、経過良好のため退院となりました。主治医からは数年間経過観察が必要と説明を受けました。

手術から3か月が経過し、外来での診察を受けました。術前に主治医から説明は受けてはいましたが、自覚症状として右耳の聞こえはあまり変わらず、舌の右側の味覚低下も変わっていません。しかし、術後経過は良好と説明を受け、次回の受診予約をしました。